

③離島医療総合コース

1. 特徴

- ①プライマリ・ケアを中心とした総合診療能力の研修に適している。
- ②症例が豊富で、指導医の下、多彩な医療手技を経験する機会が多い。
- ③希望に合わせて、フレキシブルに研修内容を変更できる。

2. 条件

- ①研修期間中、宿泊施設として研修病院の医師用官舎が利用できる。
- ②給与は原則的に研修病院の給与が支払われる。
- ③研修期間は原則的に2か月以上である。

3. 研修病院（原則）

- 五島中央病院（304床） <http://www.gotocyuoh-hospital.jp/>
 - 上五島病院（186床） <http://www.kamigoto-hospital.jp/>
 - 対馬いづはら病院（199床） <http://www.izuhara-hospital.com/>
- ※他の希望がある場合にはご相談ください。

4. 研修目的

長崎県は全国で最も多くの有人離島を有し、離島医療の充実のために長年注力してきた。このため、一次医療と二次医療の連携、ヘリコプター搬送をはじめとした本土三次医療機関との連携、医療機関・保健行政・福祉との連携についてもシステマティックに行われており、離島は地域医療のエッセンスがコンパクトにまとまっている。この環境を活用し、プライマリ・ケアを中心とした総合診療能力と、医療機関・保険行政・福祉との連携をマネジメントできる能力を備えた全人的臨床医の育成を目指す。

5. 研修指導体制

①一般事項

離島医療総合コースでは、原則として一箇所の離島研修病院で2ヶ月間以上の離島医療研修を行う。各研修病院の研修プログラムに従って、プライマリ・ケアを中心に研修を行う。この全ての研修において各診療科の専門医が指導にあたり、研修全体を指導責任者である各病院長が統括する。研修内容に希望がある場合は、離島・へき地医療学講座もしくは各病院長へ事前に相談することにより、研修内容を変更することが可能な場合が多い。

②一般診療（外来・入院）

コミュニケーションの取り方から身体診察法、各種検査オーダー、確定診断へのプロセス、説明、治療方針の決定、入院の適否に至る一連の流れを指導医とともに研修する。そして入院患者の主治医になり、指導医とともに臨床技能や治療法などについて修得する。また、研修病院のスケジュールに合わせて新患紹介、病棟回診、カンファランス、退院報告、CPC、医師会勉強会などで症例の呈示を行い、疾患に対しての理解を深める。

③救急患者への対処

救急担当の指導医について、実際に救急患者の診療にあたる。特に、患者搬送システム（ヘリコプター搬送を含む）、画像伝送システム、遠隔医療支援システムなどを活用し、離島の救急診療体制の研修を行う。

④地域密着医療の研修

研修病院の特性に合わせて、在宅医療支援、在宅介護支援、診療所への診療応援、地域イベントなどへ指導医とともに参加し、地域に密着した最前線の医療についての研修を行う。

6. 研修指導責任者 前田 隆浩

7. 研修内容と到達目標

7-1 行動目標

本プログラムの研修内容は、行動・経験目標の修得を基本方針とし、各項目の修得度について指導医・指導責任者とともに定期的にチェックしながら研修を進める。さらに、離島医療総合コースの行動目標として、下記の項目についても研修し、修得を目指す。

(1) 離島医療の理解と実践

- ①地域の疾病構造を理解し、診断・治療へ向けた的確なアプローチができる。
- ②地域の風土・伝統・文化を理解し、患者と良好なコミュニケーションを構築できる。
- ③住民の考え方を理解し、患者ニーズに応じた診療を計画することができる。
- ④特定の診療科や疾患にとらわれず、プライマリ・ケアができる。

(2) tele-medicine の活用と救急医療への対応

- ①画像伝送システムなどの診療支援システムを活用でき、本土の専門医への適切なコンサルテーションができる。
- ②3次救急病院への患者のヘリコプター搬送や洋上救急など離島独特の救急診療体制を理解し、的確な搬送タイミングの決定と実践ができる。

(3) 予防医療と地域密着型医療

- ①診療所への応援診療や在宅医療支援、在宅介護支援へ参加し、地域に密着した医療を行うことができる。
- ②健康イベントなど、離島の住民に対しての医療啓蒙活動に指導スタッフとして参加することができる。
- ③地域の保健、福祉、医療のネットワークを把握し、チームの一員として活動できる。

7-2 経験目標

本プログラムの経験目標に掲載されている項目の経験・修得を基本方針とし、各項目の修得度について指導医・指導責任者とともに定期的にチェックしながら研修を進める。さらに、前項にあげた離島医療総合コースに特徴的な行動目標を修得するために、下記の項目を経験するよう努力する。

- (1) 患者のヘリコプター搬送
- (2) tele-medicine を活用したコンサルテーション
- (3) 在宅医療支援、在宅介護支援、診療所への応援診療への参加
- (4) 症例検討会や健康イベントなど地域で開催される医療福祉行事への参加

8. 問い合わせ

離島医療総合コースで不明な点や研修内容に対する希望がある場合には、些細なことでも結構ですので、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座にお問い合わせください。

〒853-8691

長崎県五島市吉久木町205 五島中央病院内

離島医療研究所

Tel0959-74-2673 Fax0959-74-2635

e-mail ritouken@vc.fctv-net.jp (代表)

mio@msb.biglobe.ne.jp (助教 中里未央)

tsekita@nagasaki-u.ac.jp (助教 関田孝晴)

tmaeda@nagasaki-u.ac.jp (教授 前田隆浩)